

農業用スチールコンテナ製造で培った 安心と信頼の技術力が、太陽光発電パネル架台を さらに進化させた。

北日本サッシ工業(北見市東相内町)は、農業用スチールコンテナ製造、販売のパイオニア。北海道の基幹産業である農業を陰で支える、縁の下の力持ち的存在である。収穫期の耕作地で目にするコンテナと言えば、おなじみだろうか。2012年、コンテナ製造で培った技術を生かし、太陽光発電架台の製造、販売に乗り出した。CO2排出量の削減と新エネルギーの開発、普及が国家的な課題となった今、同社が果たす役割は大きい。メイド・イン・ジャパン、フロム北海道を目指す北日本サッシ工業の強口(こわぐち)照雄社長に、事業の将来と地域貢献への考え方を伺った。
(聞き手・守谷久北海道新聞北見支社長)



強口照雄北日本サッシ工業社長(右)と守谷久北海道新聞北見支社長



日本の農業を支えるスチールコンテナ

強口 コンテナの核である鋼板を含む主要材料を国産でそろえ、北海道で製造している「MADE IN JAPAN」「FROM HOKKAIDO」ということです。特に品質にはこだわり、溶接亜鉛メッキ処理を施した構造用鋼板を使用しています。これは一般的な鋼材の1.2倍の強度と耐久性、耐腐性に優れた貯蔵時の5段階にも耐えるほどの堅牢(けんろう)さを有します。貯蔵運送される野菜をはじめ食品の安心・安全にも考慮した化学成分の鋼材です。

強口 御社のスチールコンテナの特徴を教えてください。
守谷 御社のスチールコンテナは、秋の収穫期、タマネギが入った真四角のコンテナが畑のあちこちに点在している様子をご覧になるかと思いますが、まさしくそのコンテナを製造、販売しています。農作物の収穫、輸送、貯蔵の合理化を図るために1967年に開発、仕様形態などさまざまな特許を取得し、半世紀近く全国の農業関係者の皆さんにご利用いただいています。

守谷 競争が激しい業界とお聞きしています。シェアはどのくらいですか。
強口 10年ほど、中国などの安価な海外製品が出回り、50%を超していたシェアを年々失いました。そこで、関連会社でもある国内屈指の鋼材商社富安より高品質の材料を仕入れ、輸入品に負けない品質の向上と他社には無い修理、補修などのアフター体制を整えてまいりました。近年、農業関係者から再評価をいただき、ようやく以前のシェアを取り戻すことができました。

農業を陰で支えるスチールコンテナ
守谷 北日本サッシ工業さんの本業は、農業用スチールコンテナの製造ですね。
強口 秋の収穫期、タマネギが入った真四角のコンテナが畑のあちこちに点在している様子をご覧になるかと思いますが、まさしくそのコンテナを製造、販売しています。農作物の収穫、輸送、貯蔵の合理化を図るために1967年に開発、仕様形態などさまざまな特許を取得し、半世紀近く全国の農業関係者の皆さんにご利用いただいています。

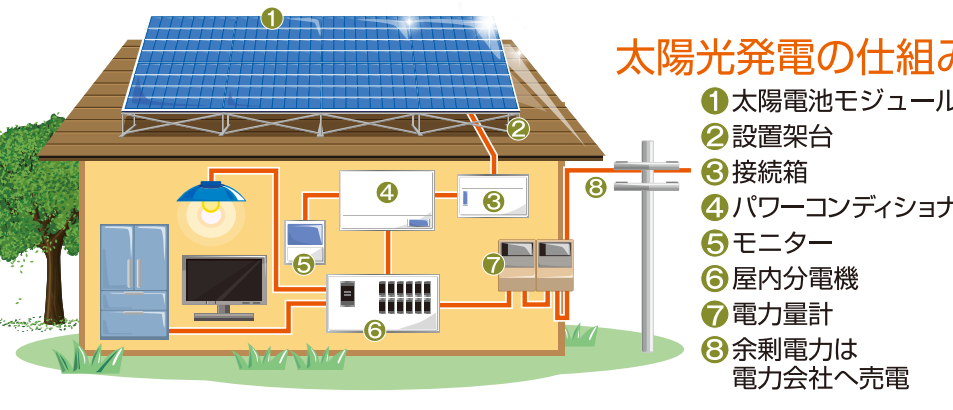
強口 今から8年ほど前、商社マンとしてドイツに3年間駐在していたのですが、道東地区が農業大国ドイツの気候風土と非常によく似ていることが分かりました。ミュンヘンへ降りたつ飛行機から眼下に広がる一面の畑とソーラーパネルのオンパレードを見て、日本でも本格的な太陽光発電の時代が来るだろうという予感がありました。平坦な地形と日照率の高さという自然の恵みを生かした「アグリソーラーベルト」を北海道でも造りたい、そのお手伝いをしたいと考えました。

守谷 長年のコンテナ製造技術を活用できるということですね。
強口 スチールコンテナの製造で培ってきた溶接、曲げ加工、防錆(ぼうせい)技術を生かせば、当社ならではの「頑丈でサビに強い」太陽光発電の架台製造ができると考えました。また、富安との強固な業務連携が高品質で軽い、コスト競争力のある架台作りを可能にしました。
何よりスチールコンテナ製造で培った高い技術力と厳しい気象環境での利用実績から得た経験に基づき、雪の多い地域では架台のかさ上げ、風の強い地域では架台の強化、海岸に近い地域では塩害対策を施すなど、太陽光発電パネルの設置場所の環境に合わせた架台製造技術が真骨頂です。

守谷 太陽光発電をはじめとする自然再生エネルギーへの期待は高まるばかりです。
強口 太陽光発電のメリットは、発電に伴う温室効果ガスの排出や有害な廃棄物の発生がないクリーンな自然エネルギーであること、設置後の煩わしいメンテナンスもほとんど不要なこと、設置場所の自由度が高いことです。余った電力は電力会社で売れるのはご存じの通りです。

守谷 太陽光発電パネルの架台製造という新事業は地域貢献にもつながりますか。
強口 鉄鋼の加工と聞くと地味な世界で若い人には魅力を感じてもらえないかもしれませんが、太陽光発電という自然再生エネルギーを支える架台作りを通して、モノづくりの楽しさや、その技術力をこ北見から発信するんだという、若者たちにやりがいを感じてもらえる雇用の場を創出したいと考えています。スチールコンテナ事業で農業関係者の皆さんのお役に立ち、太陽光発電事業でさらに多くの方のお役に立ちたい。今後はグローバルな事業展開を考えながら、より地域に貢献できる企業を目指していきたいと思っております。

強口 頑丈でサビに強いパネル架台を実現
守谷 太陽光発電架台の製造、販売に乗り出したきっかけは何だったのでしょうか。
強口 今から8年ほど前、商社マンとしてドイツに3年間駐在していたのですが、道東地区が農業大国ドイツの気候風土と非常によく似ていることが分かりました。ミュンヘンへ降りたつ飛行機から眼下に広がる一面の畑とソーラーパネルのオンパレードを見て、日本でも本格的な太陽光発電の時代が来るだろうという予感がありました。平坦な地形と日照率の高さという自然の恵みを生かした「アグリソーラーベルト」を北海道でも造りたい、そのお手伝いをしたいと考えました。



企画制作/北海道新聞北見支社営業部



強口 照雄氏(こわぐち・てるお) 北日本サッシ工業(株) 代表取締役

北日本サッシ工業の架台が太陽光発電システムをサポート



農業用スチールコンテナの製造で培った信頼と実績の技術を生かした、頑丈でサビに強い太陽光発電パネル架台を実現。設置環境に合わせた架台製造技術で太陽光発電システムをサポートいたします。



十勝メガソーラー

当社架台を使用した地上設置型の太陽光発電システム(住宅用・産業用)も手掛けています。お気軽にお電話または、ホームページへアクセスください。

北日本サッシ工業株式会社
〒099-0878 北海道北見市東相内町288-6 FAX.0157-36-6414

お問い合わせ
見積り無料

☎0157-36-5721
http://www.kitanihon-sash.jp 北日本サッシ工業 検索